



関東ジュニア大会 18歳以下
 女子単優勝 荒川 晴菜 選手



関東ジュニア大会 18歳以下
 男子単優勝 田中 優之介 選手

CONTENTS

「テニスとオリンピック」

関東テニス協会会長 鏡味 徳房	3	DUNLOP SRIXON全日本ジュニアテニス選手権'16	11
第90回 関東オープンテニス選手権大会	4	第2回グラスホパージュニアテニスカンプ	12
第90回 関東ジュニアテニス選手権大会	5	第55回関東実業団対抗テニストーナメント	13
PLAY & STAYイベントの報告		第31回関東実業団対抗テニスリーグ戦	13
第34回 第一生命 全国小学生テニス選手権大会	8	第40回全日本都市対抗テニス大会	14
ATF 14/川須玉国際ジュニアテニストーナメント2016	9	第71回希望郷いわて国体2016テニス競技	14
第43回 全国中学生テニス選手権大会	10	第22回指導者のためのリフレッシュ講習会	15
平成28年度全国高等学校総合体育大会	10	委員会よりお知らせ(審判委員会・広報委員会)	15

完成、 X-BLADEの極み



GRIP CHANGE

TOP BUMPER

SIDE PARTS

あなたのスイングにフィットした1本を。
ブリヂストンラケット・カスタマイズサービス

GRIP CHANGEで



**ボレー
安定性UP!**

SIDE PARTS装着で



**コントロール
性能UP!**

TOP BUMPER装着で



**ストローク
パワーUP!**

※カスタマイズは有料です。 ※写真はイメージです。

X-BLADE VI SERIES

エクスブレード ブイアイ シリーズ

■ X-BLADE VI310 ¥34,000 + 税
重量: 310g (平均) フェースエリア: 95inch² ラケット長: 27inch

■ X-BLADE VI305 ¥34,000 + 税
重量: 305g (平均) フェースエリア: 98inch² ラケット長: 27inch

■ X-BLADE VI-R300 ¥32,000 + 税
重量: 300g (平均) フェースエリア: 100inch² ラケット長: 27inch

■ X-BLADE VI-R290 ¥32,000 + 税
重量: 290g (平均) フェースエリア: 100inch² ラケット長: 27inch

■ X-BLADE VI295 ¥32,000 + 税
重量: 295g (平均) フェースエリア: 98inch² ラケット長: 27inch

■ X-BLADE VI-R275 ¥30,000 + 税
重量: 275g (平均) フェースエリア: 100inch² ラケット長: 27inch

ブリヂストンスポーツ株式会社

商品のお問い合わせはお客様コールセンター 0120-116613 / 平日 10:00~17:00 (土日・祝日・当社指定休日は除く)

www.bs-tennis.com

BRIDGESTONE

あなたと、つぎの景色へ

「テニスとオリンピック」



リオオリンピックではテニスで錦織選手が96年ぶりのメダルを獲得しました。日本人が初めてオリンピックのメダルを獲得したのは96年前のアントワープオリンピックで、テニスシングルの熊谷選手、ダブルス熊谷・柏尾両選手でありました。このことが、今回何度も報道され、日本のテニスとオリンピックとの特別な関係が多く国民に強く印象付けられたのではないのでしょうか。

準決勝ではロンドンオリンピックの金メダリストであるマレー選手に敗退したものの、3位決定戦で北京オリンピックの金メダリストであるナダル選手に勝利して手にした銅メダルは大きな価値があると思います。4大大会やマスターズのような高額賞金がなく、ランキングを左右するポイントが付かない上に表彰式が終わった数時間後には次のマスターズ会場に飛び立つというハードなスケジュールを強いられるにもかかわらず、「日本のために頑張るのは心地が良かった」という錦織選手の発言がオリンピックの意義を表しています。

マレー戦ではファーストサーブの確率が相手より20%低い50%程度であったことも要因となり敗退しました。その後、日本コーチの助言でファーストサーブの確率を向上させたことやナダル選手の分析データに基づき対策を立てられたことなどが3位決定戦の勝因につながったとの報告が日本チームの監督を務めた日本テニス協会強化本部長からありました。日本テニス協会が大きな支援力を発揮したことは日本テニス界の朗報です。

また、リオオリンピックでは日本代表として出場した錦織に加え杉田とダニエルの3人の男子選手と土居、日比野及び土居と組んだダブルス穂積の3人の女子選手が全員1回戦で勝利をあげたことも快挙ではないでしょうか。うち、ダニエル太郎選手は銀メダリストのデル・ポトル選手に敗退しましたが、3回戦まで進出しています。ナショナルトレーニングセンターなどを活用した強化策が効果を挙げていると思います。

4年後の東京オリンピックでメダルが期待できる競技種目の一つとして、テニスについては公的助成金が日本テニス協会に支給されています。日本テニス協会とおひぎ元の関東テニス協会などの地区テニス協会が一致協力し、東京オリンピックの成功とメダル獲得の目標に邁進したいものです。

また、日本国民の声援が錦織選手等のオリンピック活躍の大きなインセンティブになりました。テニスの普及を更に進め、声援がより大きなものになることを祈っています。

関東テニス協会をはじめとする関係者のこれまでの地道なご努力に感謝するとともに今後の更なるご尽力を期待しています。



関東テニス協会会長
鏡味 徳房

第90回関東オープンテニス選手権大会

一般の部:2016年5月9日(月)~5月14日(土) 有明テニスの森

ベテランの部:2016年5月16日(月)~5月29日(日) 有明、小田原、大宮、蘇我、甲府小瀬、昭和の森の6会場



一般の部、男子シングルスは、鈴木昂選手が綿貫敬介選手の連覇を阻止し、初優勝しました。女子シングルスは新鋭同志の対戦となり、小堀桃子選手が初優勝しました。

ダブルスは男女共高校の先輩後輩対決となり、接戦の末、先輩選手が優勝しました。

今大会では特に女子シングルスでジュニア選手の活躍が目立ち、プロ、実業団、学生選手を打ち破っての躍進は今後の期待される大会でした。

○一般男子シングルス

鈴木 昂 (SARI)	}	鈴木	}	鈴木
長船 雅喜 (テニスユニバース)		63.64		
綿貫 敬介 (明治安田生命)	}	綿貫	}	鈴木
中村 祐樹 (新松戸山喜)		63.62		

○一般男子ダブルス

後藤 翔太郎 (三重GTC)	}	後藤・長船	}	濱中・金城
長船 雅喜 (テニスユニバース)		36.76(3)[10-4]		
井上 貴博 (たちかわジュニアテニスアカデミー)	}	濱中・金城	}	濱中・金城
芝田 雅司 (リコー)		36.62[10-8]		
久松 亮太 (アース製薬)	}	濱中・金城	}	濱中・金城
田村 和也 (tennis365.net)		36.62[10-8]		
濱中 重宏 (ひばりヶ丘新豊テニスクラブ)	}	金城 光 (アスリートTA)	}	濱中・金城
金城 光 (アスリートTA)		36.62[10-8]		

○一般女子シングルス

西本 恵 (島津製作所)	}	小堀	}	小堀
小堀 桃子 (U.T.PあだごTC)		61.60		
千村 もも花 (TTC)	}	千村	}	小堀
山口 芽生 (Fテニス)		61.26.63		

○一般女子ダブルス

品田 祐希 (リコー)	}	品田・川床	}	品田・川床
川床 芙美 (リコー)		76(5).61		
守屋 友里加 (テニスユニバース)	}	品田・川床	}	品田・川床
森本 風咲 (PLUS LIST)		76(5).61		
大嶺 真緒 (山梨学院大学)	}	大嶺・寺見	}	品田・川床
寺見 かりん (山梨学院大学)		16.64[10-8]		
森崎 可南子 (筑波大学)	}	大嶺・寺見	}	品田・川床
米原 実令 (筑波大学)		16.64[10-8]		

ベテランの部は、2週間にわたり全国から1500を超える選手が参加されて、円熟の技を競い合う熱戦が繰り広げられました。昨年、本大会が全国にさきがけ実施した、男子85歳以上などの高年齢種目は、今年からは全日本ベテラン選手権大会の正式種目となり、新たな種目として定着しています。

来年も参加される選手にとって、より良い大会になるようベテラン委員会を挙げて、努めてまいります。

ベテランの部 優勝者・ペア

男子35歳以上S	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)
男子35歳以上D	向 和彦(アポロコーストテニスクラブ)
	大久保 祐輔(アポロコーストテニスクラブ)
男子40歳以上S	佐藤 政大(プロ・日本商業開発)
男子40歳以上D	佐藤 政大(プロ・日本商業開発)
	黒田 貴臣(サトウGTC)
男子45歳以上S	渡邊 哲(エリステニスクラブ)
男子45歳以上D	山根 知(船橋さくらテニスクラブ)
	大川原 知史(ロフティング)
男子50歳以上S	谷津 純一(立川グリーンテニスクラブ)
男子50歳以上D	剛志(鎌倉宮カントリーテニスクラブ)
	赤木 信介(SEED TC)
男子55歳以上S	原口 浩二(ヨネックス)
男子55歳以上D	秋山 敏行(にこにこTC)
	浜中 義治(club HIT)
男子60歳以上S	神澤 俊介(東京ローンテニスクラブ)
男子60歳以上D	神澤 俊介(東京ローンテニスクラブ)
	倉島 英造(東京ローンテニスクラブ)
男子65歳以上S	塚本 邦男(塚本テニスカレッジ)
男子65歳以上D	麦 富栄(横須賀ダイヤモンドテニスクラブ)
	上田 昇(名古屋ローンテニス倶楽部)
男子70歳以上S	桐原 清徳(和泉テニスクラブ)
男子70歳以上D	柳川 嘉夫(小平T.C)
	桐原 清徳(和泉テニスクラブ)
男子75歳以上S	飯島 捷語(石神井ローンテニスクラブ)
男子75歳以上D	田中 正剛(三菱重工業)
	生川 芳久(東京ローンテニスクラブ)
男子80歳以上S	谷津 正次(ボプラ倶楽部)
男子80歳以上D	土屋 善二(チーム・ダイヤモンド)
	勝田 茂(サンスポーツテニスクラブ)
男子85歳以上S	伊藤 暢英(オレンジヒルテニスクラブ)
男子85歳以上D	山元 一夫(クレールITS)
	小野 敏男(前橋MTC)
女子40歳以上S	高橋 えみ子(テニスプロジェクト)
女子40歳以上D	辻 奈美(ノータッチ)
	渡邊 朋子(GODAIテニスカレッジ)
女子45歳以上S	笠井 和子(松原TC)
女子45歳以上D	竹中 友美恵(中野区テニス連盟)
	笠井 和子(松原TC)
女子50歳以上S	後藤 淳子(たちかわジュニアテニスアカデミー)
女子50歳以上D	清水 志津子(サントピアテニスクラブ)
	三木 真美(サントピアテニスクラブ)
女子55歳以上S	小泉 幸枝(プロ・モリタテニス企画)
女子55歳以上D	山田 かおる(越谷グリーンテニスクラブ)
	神沢 富士江(高崎水曜会)
女子60歳以上S	中山 明代(大正セントラルテニスクラブ目白)
女子60歳以上D	森山 郁野(SPTC)
	本郷 美智子(東宝調布テニスクラブ)
女子65歳以上S	丹野 邦子(鎌倉宮カントリーT.C)
女子65歳以上D	丹野 邦子(鎌倉宮カントリーT.C)
	間島 美代子(札幌L.T.C)
女子70歳以上S	江沢 好美(クレールITS)
女子70歳以上D	鷺見 美恵子(京王テニスクラブ)
	岩里 弘子(エバグリーンフォレスト横浜)
女子75歳以上S	高橋 和子(武蔵野ローンテニスクラブ)
女子75歳以上D	幸子(高井戸ダイヤモンドテニスクラブ)
	上垣 年子(新座ローンテニスクラブ)
女子80歳以上D	斎藤 恵美子(明治神宮外苑テニスクラブ)
	岩崎 貴久子(明治神宮外苑テニスクラブ)

第90回関東ジュニアテニス選手権大会

2016年7月16日(土)~7月21日(木) 予備22日(金) 会場:アポロコーストテニスクラブ



○ 18歳以下男子シングルス

成 韓韓(むさしの村ローンテニスクラブ)	田形 諒平	75.63	田中 優之介	63.62
田形 諒平(狛江インドアジュニアATPチーム)	田中 優之介(秀明英光高校)	76(3).64	田中 優之介	60.62
田中 優之介(秀明英光高校)	住澤 大輔(VaI)	63.61	宮本 大勢	36.6261
住澤 大輔(VaI)	池田 悠人(きさらづアウルテニスクラブ)	61.61	宮本 大勢	61.61
池田 悠人(きさらづアウルテニスクラブ)	武藤 洗希(大成高校)	61.61	宮本 大勢	61.61
武藤 洗希(大成高校)	宮本 大勢(ローズヒルテニスクラブ)	61.61	宮本 大勢	61.61
宮本 大勢(ローズヒルテニスクラブ)	窪田 緑(ミナミグリーンテニスクラブ)	61.61	宮本 大勢	61.61
窪田 緑(ミナミグリーンテニスクラブ)				



優勝 田中 優之介(秀明英光高校) 左
 自分は大事なところで守りに徹してしまう弱さがあるので、積極的に攻めることができるようにメンタル面の強化に努めました。課題を明確化し、日々の努力の積み重ねが成果につながったと思います。将来は国際試合で活躍できる選手になりたい。また、優勝の喜びはサポートしてくださった皆様と分かち合いたい。

○ 18歳以下男子ダブルス

門矢 和真(慶応義塾高校)	住澤 野口	62.60	住澤 野口	63.62
賀川 稜太(法政大学第二高校)	住澤 大輔(VaI)	62.60	住澤 野口	63.62
住澤 大輔(VaI)	野口 莉央(湘南工科大学附属高校)	63.61	吉井 窪田	63.64
野口 莉央(湘南工科大学附属高校)	金森 拓仁(文星芸術大学附属高校)	63.61	吉井 窪田	63.64
金森 拓仁(文星芸術大学附属高校)	柚木 武(文星芸術大学附属高校)	63.61	吉井 窪田	63.64
柚木 武(文星芸術大学附属高校)	吉井 雅(上野山テニススクール)	63.61	吉井 窪田	63.64
吉井 雅(上野山テニススクール)	窪田 緑(ミナミグリーンテニスクラブ)	63.61	吉井 窪田	63.64
窪田 緑(ミナミグリーンテニスクラブ)				

○ 16歳以下男子シングルス

白石 光(有明ジュニアテニスアカデミー)	白石 光	64.62	白石 光	62.76(3)
松下 龍馬(Fテニス)	保坂 駿太(エストテニスクラブ)	61.60	清水 一輝	63.75
保坂 駿太(エストテニスクラブ)	横田 大夢(むさしの村ローンテニスクラブ)	62.60	清水 一輝	62.75
横田 大夢(むさしの村ローンテニスクラブ)	徳 航太(リビエラ逗子マリナーテニススクール)	62.60	清水 一輝	62.75
徳 航太(リビエラ逗子マリナーテニススクール)	清水 一輝(グリーンテニスプラザ)	62.60	清水 一輝	62.75
清水 一輝(グリーンテニスプラザ)	北岡 志之(法政大学第二高校)	46.75.62	矢島 洋揮	46.75.62
北岡 志之(法政大学第二高校)	矢島 洋揮(ルネサンス鷹の台TC)	46.75.62	矢島 洋揮	46.75.62
矢島 洋揮(ルネサンス鷹の台TC)				



優勝 清水 一輝(グリーンテニスプラザ) 左
 「心:我慢強くプレー」「技:ファーストサーブをきめる」「体:体幹力の向上」優勝の要因は試合運びをスムーズにし、体力を温存しながら決勝戦へ臨めたことです。今後は全日本優勝を目指すとともにITFで活躍できる選手に成長したいと思います。優勝の喜びは両親・家族、コーチ、友人、スクールの仲間に伝えたい。

○ 16歳以下男子ダブルス

永井 宏樹(法政大学第二高校)	白石 清水	64.64	白石 清水	61.63
北岡 志之(法政大学第二高校)	白石 光(有明ジュニアテニスアカデミー)	64.64	白石 清水	61.63
白石 光(有明ジュニアテニスアカデミー)	清水 健二郎(有明ジュニアテニスアカデミー)	64.64	白石 清水	61.63
清水 健二郎(有明ジュニアテニスアカデミー)	保坂 駿太(エストテニスクラブ)	64.61	齋藤 横田	64.61
保坂 駿太(エストテニスクラブ)	齋藤 聖(エストテニスクラブ)	64.61	齋藤 横田	64.61
齋藤 聖(エストテニスクラブ)	齋藤 恵佑(グローバルプロテニスアカデミー)	64.61	齋藤 横田	64.61
齋藤 恵佑(グローバルプロテニスアカデミー)	横田 大夢(むさしの村ローンテニスクラブ)	64.61	齋藤 横田	64.61
横田 大夢(むさしの村ローンテニスクラブ)				

○ 14歳以下男子シングルス

間仲 啓(むさしの村ローンテニスクラブ)	間仲 啓	63.63	間仲 啓	75.46.63
山田 倫太郎(U.T.P.あたごTC)	高木 凌	61.64	間仲 啓	62.60
高木 凌(ISHII TENNIS ACADEMY)	山本 敦貴(エストテニスクラブ)	61.67(6).75	鈴木 久統	26.61.75
山本 敦貴(エストテニスクラブ)	村上 直樹(ALWAYS TENNIS SCHOOL)	61.67(6).75	鈴木 久統	26.61.75
村上 直樹(ALWAYS TENNIS SCHOOL)	鈴木 久統(荏原SSC)	60.60	木村 優希	60.60
鈴木 久統(荏原SSC)	有本 響(シズあざみ野テニスチーム)	60.60	木村 優希	60.60
有本 響(シズあざみ野テニスチーム)	木村 優希(昭和の森ジュニアテニススクール)	60.60	木村 優希	60.60
木村 優希(昭和の森ジュニアテニススクール)				



優勝 間仲 啓(むさしの村ローンテニスクラブ) 左
 今大会出場にあたってファーストサーブの確率を高め、予測を早めるとともにフットワーク強化の練習を行いました。試合ではボールを深く打つこと、自らのミス減らして攻守を意識したプレーを行いました。将来は全日本大会・グランドスラム大会優勝を目指します。優勝の喜びはコーチ、両親、そして仲間に伝えます。

○ 14歳以下男子ダブルス

飯泉 涼(CSJ)	飯泉 加藤木	62.76(5)	飯泉 加藤木	60.62
加藤木 暁(大洗ビーチテニスクラブ)	佐藤 瑛輝(U.T.P.あたごTC)	61.76(5)	中込 高木	61.76(5)
佐藤 瑛輝(U.T.P.あたごTC)	山田 倫太郎(U.T.P.あたごTC)	61.76(5)	中込 高木	61.76(5)
山田 倫太郎(U.T.P.あたごTC)	鈴木 久統(荏原SSC)	61.76(5)	中込 高木	61.76(5)
鈴木 久統(荏原SSC)	青木 一晟(荏原SSC)	61.76(5)	中込 高木	61.76(5)
青木 一晟(荏原SSC)	中込 颯馬(ISHII TENNIS ACADEMY)	61.76(5)	中込 高木	61.76(5)
中込 颯馬(ISHII TENNIS ACADEMY)	高木 凌(ISHII TENNIS ACADEMY)	61.76(5)	中込 高木	61.76(5)
高木 凌(ISHII TENNIS ACADEMY)				

○ 12歳以下男子シングルス

細川 暖生(京王赤城アカデミー)	細川 暖生		
廣池 泰河(ALWAYS TENNIS SCHOOL)	76(4).64	細川 暖生	
三好 健太(シズあざみ野テニスチーム)	三好 健太	63.64	
松岡 隼(荏原SSC)	75.63		中村 健太
山内 日斗(フミヤエス市川テニスアカデミー)	山内 日斗		76(1).62
森田 隼介(一筆テニスクラブ)	森田 隼介	61.60	
清水 勇至(浦和パークテニスクラブ)	中村 健太	63.64	
中村 健太(志津テニスクラブ)	中村 健太	64.61	

○ 12歳以下男子ダブルス

山内 日斗(フミヤエス市川テニスアカデミー)	山内・橋本		
橋本 圭史(フミヤエス市川テニスアカデミー)	63.63		
長谷川 和也(Team REC)			中村・平川
仁鳥 清嘉(須江インドアジュニアATPチーム)			26.64.61
石高 丈慈(SSAレニックス)			
関口 恒(SSAレニックス)	中村・平川		
中村 洸(むさしの村ローンテニスクラブ)	75.16.62		
平川 朝陽(むさしの村ローンテニスクラブ)			

○ 18歳以下女子シングルス

松田 美咲(浦和学院高校)	米原 さくら		
米原 さくら(プリジストンテニスハウス新所沢)	75.67(7).63	清水 映里	
清水 映里(グリーンテニスプラザ)	清水 映里	61.61	
本藤 咲良(高崎テニスクラブ)	62.61		荒川 晴菜
佐藤 光(アクロステニスアカデミー)	荒川 晴菜		63.63
荒川 晴菜(吉田記念テニス研修センター)	62.76(9)	荒川 晴菜	
日暮 春香(東洋大附属牛久高校)	千村 もも花	61.61	
千村 もも花(吉田記念テニス研修センター)	62.RET		

○ 18歳以下女子ダブルス

松田 美咲(浦和学院高校)	松田・黒須		
黒須 万里奈(むさしの村ローンテニスクラブ)	61.63		
米原 さくら(プリジストンテニスハウス新所沢)			荒川・立山
清水 映里(グリーンテニスプラザ)			76(5).46.62
清水 里咲(吉田記念テニス研修センター)	荒川・立山		
矢田 智都奈(東京学館浦安高校)	64.75		
荒川 晴菜(吉田記念テニス研修センター)			
立山 里菜(吉田記念テニス研修センター)			

○ 16歳以下女子シングルス

興石 亜佑美(浦和麗明高校)	興石 亜佑美		
小林 かの香(荏原SSC)	64.60	興石 亜佑美	
毛塚 智珠(荏原SSC)	毛塚 智珠	16.63.60	
吉川 ひかる(リビエラ選手マリーナテニススクール)	63.62		興石 亜佑美
内島 萌夏(昭和の森ジュニアテニススクール)	内島 萌夏		75.63
川村 茉那(CSJ)	64.63	内島 萌夏	
西郷 里奈(志津テニスクラブ)	安藤 優希	75.62	
安藤 優希(自由が丘インターナショナルテニスカレッジ)	62.75		

○ 16歳以下女子ダブルス

西郷 里奈(志津テニスクラブ)	矢崎・塩谷		
中山 麗未(初石テニスクラブ)	75.64		
矢崎 梓紗(グリーンテニスプラザ)			安藤・内島
塩谷 夏美(グリーンテニスプラザ)			63.63
坂口 美佑(Team YUKA)	安藤・内島		
杉山 歩(VaI)	62.64		
安藤 優希(自由が丘インターナショナルテニスカレッジ)			
内島 萌夏(昭和の森ジュニアテニススクール)			



優勝 中村 健太 (志津テニスクラブ) 左
 今大会は、怪我をしないように身体作りに努め、優勝を目指して最後までやり抜く覚悟で臨みました。試合ではファーストサーブの確率を高め、相手の苦手な所を攻めることができました。今後は全日本優勝を目指すと共に、ウインブルドン大会等で活躍したい。優勝の喜びはダブルスパートナーに伝えます。



優勝 荒川 晴菜 (吉田記念テニス研修センター) 左
 ランニングによる体力強化や、接戦の時こそ集中できるよう意識して練習したことで、サーブやストロークで左右に振られてもしっかりと返球できるようになりました。今後はUSオープンジュニア大会やJOP大会で、大人の選手に負けぬ強い選手を目指します。優勝の喜びは家族、祖父母、コーチに伝えたい。



優勝 興石 亜佑美 (浦和麗明高校) 左
 自分の苦手なプレーを課題に練習し、克服できたので「攻め」に専念できたと思います。また、相手選手の動きに対して的確なプレーが出来たと思います。今後は全日本優勝を目指すとともにWTA国内、海外の大会に出場したい。コーチ、家族、そして応援して頂いた方々に感謝し、優勝の喜びを伝えたい。

○ 14歳以下女子シングルス

伊藤 汐里(グリーンテニスプラザ)	伊藤 汐里	62.62	伊藤 汐里	62.64	伊藤 汐里
申 ジホ(KCJテニスアカデミー)	申 ジホ				
大橋 麗美華(荏原SSC)	大橋 麗美華	64.63	大橋 由奈	75.64	36,62,60
加藤 英佳(グリーンテニスプラザ)	加藤 英佳				
中込 笑愛(ISHII TENNIS ACADEMY)	石橋 彩由	75.64	大橋 由奈	75.64	36,62,60
石橋 彩由(アートヒルテニスクラブ)	石橋 彩由				
大橋 由奈(コートピア大泉テニスクラブ)	大橋 由奈	61.64			
松田 絵理香(SSAレニックス)	松田 絵理香	61.64			

○ 14歳以下女子ダブルス

松田 絵理香(SSAレニックス)	松田・大橋	76(4),76(4)	松田・大橋	76(2),46,75
大橋 麗美華(荏原SSC)	大橋 麗美華			
池田 涼子(たちかわジュニアテニスアカデミー)	池田 涼子	62.63	伊藤・加藤	62.63
金子 さら紗(たちかわジュニアテニスアカデミー)	金子 さら紗			
大橋 由奈(コートピア大泉テニスクラブ)	大橋 由奈			
西村 瑠生(ア・インドアステージ園分寺)	西村 瑠生			
伊藤 汐里(グリーンテニスプラザ)	伊藤 汐里			
加藤 英佳(グリーンテニスプラザ)	加藤 英佳			

○ 12歳以下女子シングルス

古賀 彩花(吉田記念テニス研修センター)	古賀 彩花	60,76(2)	古賀 彩花	46,64,61
石井 さやか(自由丘インターナショナルテニスクラブ)	石井 さやか			
奥脇 莉音(Fテニス)	奥脇 莉音	64.62	早重 果波	64,16,75
麻坂 芽生(ファミエース市川テニスアカデミー)	麻坂 芽生			
梅本 愛珠(BEAT TENNIS CLUB)	梅本 愛珠	63.60	早重 果波	63.60
富田 晴翔(アポロコーストテニスクラブ)	富田 晴翔			
宮内 汐夏(SSAレニックス)	宮内 汐夏	62.60		
早重 果波(あじさいインドアTS)	早重 果波	62.60		

○ 12歳以下女子ダブルス

長谷川 采香(たちかわジュニアテニスアカデミー)	古賀・小副川	63.62	古賀・小副川	75.62
岩佐 葉々心(たちかわジュニアテニスアカデミー)	岩佐 葉々心			
古賀 彩花(吉田記念テニス研修センター)	古賀 彩花	75.64	早重・内山	75.64
小副川 莉桜(オールサムズテニスクラブ)	小副川 莉桜			
早重 果波(あじさいインドアTS)	早重 果波			
内山 侑香(INABA T.S.)	内山 侑香			
阿出川 暖乃(東京JTTC)	阿出川 暖乃			
土井 佳奈実(東京JTTC)	土井 佳奈実			



優勝 伊藤 汐里(グリーンテニスプラザ) 左

プレースタイルの強みを生かせるよう、フットワークを強化し、サービス練習に重点をおいてきました。決勝戦では1stセットを落としたが自分のテニスができたと思います。今後は全日本大会の優勝はもちろん、ITF等の試合で活躍できる選手になりたい。優勝の喜びは両親、コーチ、クラブの皆さんに伝えたい。



優勝 早重 果波(あじさいインドアTS) 左

どんな局面でも平常心でプレーすることを心がけ、すべてのプレーのレベルアップを目標に練習に励んだので、試合では自信をもって冷静に打ち合うことが出来ました。今後は全日本優勝、ITFポイントの取得とオレンジボール優勝を目指して頑張ります。優勝の喜びは両親、コーチと分かち合いたいと思います。

関東ジュニア選手権会場でのPLAY&STAYイベントの報告

主催・主管: 関東テニス協会・強化指導本部

期日: 平成28年7月16日～18日

講師: 横松尚志氏

補助員: 東洋学園大学・テニス部選手 5名

実施内容:

- (1) レッド、オレンジボール講習会(8歳以下)
無料、参加総数43名
- (2) グリーンボールマッチ練習会(10歳以下)
参加料 1000円、参加総数60名



今年度は、関東ジュニア選手権大会日程に合わせて同会場で、各方面からのご協力の下に開催し、多数のご参加を頂きました。特に今回採り入れたグリーンボールマッチ練習会は好評であった。

第34回 第一生命全国小学生テニス選手権大会

平成28年7月28日(木)～30日(土) 会場:第一生命相模園グラウンドテニスコート

今年の全国小学生テニス選手権大会には、関東地域から男子14名(東京4、埼玉4、神奈川3、千葉2、茨城1)、女子14名(東京6、神奈川3、千葉3、埼玉1、栃木1)が出場し、そのうちベスト8には、男子6名、女子3名が進出した。

男子は平川(埼)、松岡(神)、松村(東)、平田(東)、森田(埼)、中村(千)である。女子は麻坂(東)、廣島(東)、古賀(千)である。

男子では、平川が第一シードのジョーンズ怜音に果敢にそして積極的に攻めて、76(4)、76(7)と第1、第2セットともタイブレークの接戦を制した。松岡と松村の対戦は松岡が攻め切れずに第1セットを松村が75で取ると、第2セットも疲れの見える松岡を松村が61で退けた。平田と森田の対戦は、平田が厳しく攻めたがミスが目立ち64、62のストレートで森田が勝ち上がった。中村は鳥根の角を安定した確かな攻めで圧倒し、64、61のストレートでベスト4に進出した。

女子は麻坂が第一シードの久保との対戦で63、75のストレートで敗れた。廣島と古賀は関東勢同士の対戦になったが、安定している古賀が62、62で廣島を退けた。

男子のベスト4以上は全員が関東勢であり、準々決勝で第一シードを破った平川が、そのままの勢いを維持して63、76(8)と、ここでも大健闘であった。森田と中村は中村が森田を63、62で退けた。

女子は久保がミスの目立つ田中を63、62のストレートで破り決勝へ進出した。一方、関東勢で一人勝ち残っていた古賀は京都の繁益を64、61のストレートで退け、決勝に進んだ。

男子決勝は、疲れの見える平川を安定している中村が61、62のストレートで退け優勝した。女子は地力で勝る久保がこれも62、64で古賀を破り、優勝した。

○男子シングルス 準決勝以上の結果

平川 朝陽 (埼玉)	_____	} 平川 63 76(8)	} 中村 61 62
松村 康太郎 (東京)	_____		
森田 卓介 (埼玉)	_____	} 中村 63 62	
中村 健太 (千葉)	_____		

○女子シングルス 準決勝以上の結果

久保 杏夏 (広島)	_____	} 久保 63 62	} 久保 62 64
田中 愛美 (大阪)	_____		
繁益 春音 (京都)	_____	} 古賀 64 61	
古賀 彩花 (千葉)	_____		



左から6人目が優勝の中村、右から5人目が準優勝の古賀



男子優勝の中村選手のウィナーズスピーチ

ATF 14/U 須玉国際ジュニアテニストーナメント2016

2016年7月2日(土)～7月8日(金)山梨県北杜市・クラブヴェルデ



ATF(アジアテニス連盟)公認の14/U須玉国際ジュニアトーナメントが今年も実施されました。ATF公認大会として今年は前週に同じここ須玉で1大会実施され、また秋にも須玉、佐賀で2大会の実施が予定されています。今年も海外(中国、香港、インド、オーストラリアなど)からの参加も少数ですがありました。また上位者の大半を関東勢が占め、男子シングルス決勝は松尾滉哉(KCJテニスアカデミー)が青木一晟(荏原SSC)に6-3,7-5で勝利し、女子シングルス決勝は松田絵里香(SSAレニックス)が中込笑愛(ISHII TENNIS ACADEMY)に6-2,6-1で勝利しました。また例年通りシングルス本戦はコンパストローにより32位まで決定し、各位ポイント付与および表彰を行ないました。また今回も男女シングルス優勝者には、8月に行われるITF兵庫国際ジュニアテニストーナメントの予選出場権が授与されました。



<写真左から>

男子単優勝の松尾滉哉、男子単準優勝の青木一晟、女子単優勝の松田絵里香、女子単準優勝の中込笑愛

(男子シングルス順位) <1～10位まで>

- 優勝 松尾滉哉(KCJテニスアカデミー)
- 準優勝 青木一晟(荏原SSC)
- 3位 山本敦貴(エストテニスクラブ)
- 4位 脇坂留依(A-CUBEテニスクラブ)
- 5位 竹田 耀(狛江インドアジュニアATPチーム)
- 6位 齋藤 成(葉山テニスクラブ)
- 7位 柴崎充志(コートピア大泉テニスクラブ)
- 8位 中澤兼心(エストテニスクラブ)
- 9位 加藤木壘(大洗ビーチテニスクラブ)
- 10位 間宮浩輝(HIDE TA)

(女子シングルス順位) <1～10位まで>

- 優勝 松田絵里香(SSAレニックス)
- 準優勝 中込笑愛(ISHII TENNIS ACADEMY)
- 3位 井實彩乃(三田学園中学校)
- 4位 高岡鈴蘭(城南学園)
- 5位 毛呂彩音(たちかわジュニアテニスアカデミー)
- 6位 池羽沙藍(蓮田グリーンテニスクラブ)
- 7位 森岡さらら(奈良国際TC)
- 8位 高橋礼奈(大島フラワーテニスガーデン)
- 9位 浮田愛未(PCAジュニアテニスアカデミー)
- 10位 齋藤愛里沙(あじさいインドアTS)

<男子ダブルス>

- 優勝 中澤兼心(エストテニスクラブ)
山本敦貴(エストテニスクラブ)
- 準優勝 有本 響(あざみ野ローンテニスチーム)
飯田康介(あじさいインドアTS)

<写真右が中澤・山本組>



<女子ダブルス>

- 優勝 河野瑞生(U.T.P.あたごTC)
高岡鈴蘭(城南学園)
- 準優勝 廣吉優佳(ロイヤルSCテニスクラブ)
中山桜季(ロイヤルSCテニスクラブ)

<写真右が河野・高岡組>



第43回全国中学生テニス選手権大会

富山県富山市 岩瀬スポーツ公園テニスコート 2016年8月19日(金)~24日(水)



- 団体戦 男子:第一シードの小平第二(東京)が準決勝、決勝の苦しい戦いを勝ち抜いて見事優勝を勝ち取った。石神井東(東京)、土浦第二(茨城)もベスト4まで勝ち上がった。
- 団体戦 女子:第一、第二シードの決勝戦は接戦をものにした城南学園(大阪)が2年連続4回目の優勝を飾った。小平第二(東京)は一步及ばず準優勝に終わった。
- 個人戦 男子シングルス:第一、二シード対決となった決勝戦ではキレのあるショットで主導権を握り齋藤恵佑(埼玉・伊奈町立南)が見事優勝を果たした。準優勝は同年代のライバル横田大夢(埼玉・行田市立忍)、ベスト4には松下龍馬(埼玉・さいたま市立土屋)が入賞した。
- 個人戦 男子ダブルス:関東中学も制し、今大会第一シードの飯村・佐々野(千葉・柏市立田中)が貫録の優勝を飾った。準優勝はノーシードから勝ち上がった河上・鹿川(東京・東京大学教育学部付属)、ベスト4には柴崎・真庭(東京・練馬区立石神井東)、田中・川井(神奈川・横浜市立中川西)が入賞し関東勢が独占した。
- 個人戦 女子シングルス:男子同様、第一、第二シードの決勝戦は第二シードの内島萌夏(東京・小平市立小平第二)がファイナル2-5からの逆転で優勝を飾った。川村茉那(茨城・牛久市第一)は一步及ばずベスト4だった。
- 個人戦 女子ダブルス:ベスト4に内島・内島(東京・小平市立小平第二)、毛呂・金子(東京・小平市立小平第二)の2ペアが勝ち残った。内島・内島の姉妹ペアが優勝を飾り、姉の内島萌夏は単複2冠を達成した。
- 《感想》 今年は富山での開催となりました。年々、地方とのレベル格差も縮まっているように感じますが、関東の厳しい予選を勝ち抜いた選手たちの逞しさが目立ちました。今後も更に上のレベルでの活躍を期待します。

平成28年度全国高等学校総合体育大会テニス競技大会

島根県松江市松江市宮庭球場・安来市安来運動公園庭球場 8月2日(火)~8日(月)



今年度の中国総体は島根県松江市と安来市を会場として開催されました。団体戦では女子・早稲田実業がベスト4に入ったのが最高で今ひとつの結果でしたが、個人戦においては関東勢が大活躍。男子シングルスで野口莉央選手(神奈川・湘南工大附)と田中優之介選手(埼玉・秀明英光)が関東勢同士で決勝戦を戦い、野口選手がストレートで勝利し初優勝を飾ったのをはじめ、女子シングルスでは松田美咲選手(埼玉・浦和学院)が準優勝を飾りました。ダブルスでは、女子・米原・浮田組(埼玉・秀明英光)がノーシードから準優勝したのをはじめ、男子・田中・田中組(埼玉・秀明英光)もノーシードからベスト4となり試合巧者振りをみせました。他には男子・窪田・吉井組(群馬・共愛学園)、宮本・渡邊組(千葉・秀明八千代)、女子・矢田・都築組(千葉・東京学館浦安)、坂本・李組(東京・堀越)もノーマークからベスト8に入る好成績を収めています。

DUNLOP SRIXON全日本ジュニアテニス選手権'16

2016.8.8~8.17 韮テニスセンター(U14/12は8.14まで江坂テニスセンター)



〇18歳以下男子シングルス

綿貫 陽介 (関東・グローバルプロTA)	}	綿貫	}	綿貫
田中 優之介 (関東・秀明英光高)		46 61 63		63 63
清水 悠太 (関西・西宮甲英高)	}	清水	}	63 64
田形 諒平 (関東・狛江インドアジュニアATPチーム)		63 64		

〇18歳以下女子シングルス

荒川 晴菜 (関東・吉田記念テニス研修センター)	}	荒川	}	村松
宮本 愛弓 (関東・ローズヒルTC)		26 75 60		63 63
村松 千裕 (関東・吉田記念テニス研修センター)	}	村松	}	62 60
坂田 季美佳 (関東・山梨学院高)		62 60		

〇16歳以下男子シングルス

田島 尚輝 (関東・TEAM YONEZAWA)	}	田島	}	田島
阿多 竜也 (関西・トップランAIOI)		63 62		36 62 62
市川 泰誠 (関西・西宮甲英高)	}	市川	}	76(4) 75
川上 倫平 (関東・狛江インドアジュニアATPチーム)		76(4) 75		

〇16歳以下女子シングルス

佐藤 南帆 (関東・有明ジュニアTA)	}	佐藤	}	佐藤
興石 亜佑美 (関東・浦和麗明高)		61 63		64 62
坂詰 姫野 (北信越・ファーストTA)	}	坂詰	}	64 61
川村 茉那 (関東・CSJ)		64 61		

〇14歳以下男子シングルス

小柴 遼太郎 (関西・三木ロイヤルTC)	}	小柴	}	小柴
木村 優希 (関東・昭和の森ジュニアTS)		63 62		76(5) 64
鈴木 久統 (関東・荏原SSC)	}	間仲	}	62 63
間仲 啓 (関東・むさしの村ローンTC)		62 63		

〇14歳以下女子シングルス

池田 涼子 (関東・たちかわジュニアTA)	}	松田	}	伊藤
松田 絵理香 (関東・SSAレニックス)		76(2) 62		61 63
伊藤 汐里 (関東・グリーンテニスプラザ)	}	伊藤	}	75 75
新見 小晴 (中国・柳生園TC)		75 75		

〇12歳以下男子シングルス

ジョーンズ 怜音 (東海・三重GTC)	}	ジョーンズ 怜音	}	ジョーンズ 怜音
中村 健太 (関東・志津TC)		63 62		63 62
水口 翔瑛 (関西・テニスプラザ'尼崎)	}	水口	}	63 64
三好 健太 (関東・シズあざみ野テニスチーム)		63 64		

〇12歳以下女子シングルス

久保 結希風 (北信越・津幡ジュニア)	}	古賀	}	古賀
古賀 彩花 (関東・吉田記念テニス研修センター)		61 61		60 61
光崎 滯 (東海・h2エリートTA)	}	光崎	}	57 63 60
駒田 光音 (東海・TEAM KOMADA)		57 63 60		

〇18歳以下男子ダブルス

綿貫 陽介 (関東・グローバルプロTA)	}	}	住澤・野口
木元 風哉 (関東・グローバルプロTA)			63 57 10-7
住澤 大輔 (関東・Val)			
野口 莉央 (関東・湘南工科大学附属)			

〇18歳以下女子ダブルス

小堀 桃子 (関東・U.T.P あたごTC)	}	}	宮本・内藤
村松 千裕 (関東・吉田記念テニス研修センター)			64 75
宮本 愛弓 (関東・ローズヒルTC)			
内藤 祐希 (関東・TEAM YONEZAWA)			

〇16歳以下男子ダブルス

田島 尚輝 (関東・TEAM YONEZAWA)	}	}	田島・川上
川上 倫平 (関東・狛江インドアジュニアATPチーム)			63 76(7)
阿多 竜也 (関西・トップランAIOI)			
丸山 隼弥 (関西・トップランAIOI)			

〇16歳以下女子ダブルス

安藤 優希 (関東・自由が丘インターナショナルTCO)	}	}	安藤・内島
内島 萌夏 (関東・昭和の森ジュニアTS)			76(2) 64
吉岡 希紗 (東海・四日市商業高)			
原田 真実子 (東海・四日市商業高)			

〇14歳以下男子ダブルス

鈴木 久統 (関東・荏原SSC)	}	}	鈴木・青木
青木 一晟 (関東・荏原SSC)			46 64 10-4
中川 友 (九州・佐世保LTC)			
太田 翔 (九州・佐世保LTC)			

〇14歳以下女子ダブルス

松田 絵理香 (関東・SSAレニックス)	}	}	今村・西尾
大橋 麗美華 (関東・荏原SSC)			64 67(7) 12-10
今村 咲 (関西・京都東山TC)			
西尾 萌々子 (関西・パブリックテニス洛西)			

〇12歳以下男子ダブルス

正木 康喜 (九州・ラフ)	}	}	ジョーンズ 怜音・眞田
前田 優 (九州・ラフ)			64 60
ジョーンズ 怜音 (東海・三重GTC)			
眞田 将吾 (東海・三重GTC)			

〇12歳以下女子ダブルス

早重 果波 (関東・あじさいインドアTS)	}	}	新竹・光崎
内山 侑香 (関東・INABA T.S.)			62 63
新竹 藍 (東海・刈谷テニスパーク)			
光崎 滯 (東海・h2エリートTA)			

第2回グラスホパージュニアテニスキャンプ

2016年8月17日(水)～8月23日(火) 於:グラスコート佐賀テニスクラブ



『夢はウィンブルドンへ』をスローガンに最終的に優れたテニス選手になるためには、単なる技術や体力の向上だけでは不可能。『その選手のテニスとは日常そのもの』(強い選手は日常もしっかり自分を管理している。)この考えにたち、『日常とテニス』というテーマのもとに、12歳までに身につけて欲しい「生活」の獲得を目指して1週間、毎日37℃という猛暑の中、オンコート・オフコート含めて選手のレベルアップに取り組みました。そして、生活の中でもっとも大切な食の習慣についても学びました。関東からは男子10名、女子9名 計19名の参加でした。

オンコートではグラスコート14面、砂入り人工芝4面、インドアハードコート2面を使い、小西一三氏、植田雄章氏、神谷勝則氏、中野道治トレーナー、地域コーチを中心に、グラスコートではラリーやゲームを、砂入り人工芝では球出しを中心としたドリル練習を、インドアコートではトレーニングを、一日かけてローテーションして行い、夜は体育館を使い講義を行いました。

8/17 『人の身体づくりと運動について』

講師 道上静香氏(滋賀大学経済学部教授、ユニバーシアード女子ヘッドコーチ)

8/18 『アスリートとして長くテニスと関わるために～ツアー生活を振り返って～』

講師 平木 理化氏(日本テニス協会常務理事)

8/20 『実践！スポーツ栄養学～今日からできるジュニアアスリートのための食事学～』

講師 長島 未央子氏(鹿屋体育大学講師)

『スポーツ選手を取り巻く環境の変化』

講師 高橋 甫氏(日本テニス協会常務理事、総務、財務、本部長)

どの講義も将来の選手には必要な知識であり有意義な講義であった。その他、グラスコートの芝刈りを見学したりネット張りの体験、世界遺産の「三重津海軍跡地」の見学や「湯オリンピック」では全員、泥まみれになりながら自然にふれた。

この一週間で将来、より魅力のある選手になる為にプレーはもちろん、スポーツマンとしてのマナー、人間としての教育や自分を管理することの大切さを知るきっかけとなったと思う。

最後にこの合宿期間中、日本の裏側のリオではオリンピックが行われ日本人の活躍する場面を選手たちも目にしていた。将来、このキャンプに参加した選手たちがウィンブルドンのコートや日の丸



を背負って出場した時に、多くの人に応援される魅力のある選手となっていて欲しいと心から期待しています。そして今回、地域コーチとして19名の選手の引率をさせていただきましたが、このような機会を与えてくださった皆さま方に感謝の意を述べたいと思います。

関東地域コーチ 岸純司

第55回関東実業団対抗テニストーナメント (ビジネスパル・テニス関東大会)

7月16日(土)～17日(日) 会場:栃木県総合運動公園テニスコート



関東1都7県から男子16チーム、女子12チームが参加。大会期間中は時折雨に見舞われる中、男子は第1シードのNTTデータが第3シードのアルドルテニスステージを接戦で制し初優勝、女子は第1シードの東京海上日動が第2シードの日本航空を破って2年連続8回目の優勝を果たしました。

また、大会初日の懇親夕食会には選手、来賓、スタッフ合計で約200名が参加。初出場チームの紹介や余興等により大いに盛り上がり、チーム間の交流を深めることができましたものと思います。

運営に関しては、昨年の群馬開催同様16面進行でしたが、大きな問題もなく無事に大会を終えることができました。一方で女子の代表チームを選出できない県が複数あるという課題も継続しており、本大会運営の総括をしっかり行い、来年以降につなげていく必要があります。

結びに、本大会運営に多大なる御支援、御協力をいただいた皆様に深く感謝致します。

※男女とも第6位まで入賞したチームが第55回全国実業団対抗テニス大会に出場します。



男子	所属	チーム名	女子	所属	チーム名
優勝	東京	NTTデータ	優勝	東京	東京海上日動
準優勝	千葉	アルドルテニスステージ	準優勝	千葉	日本航空
3位	東京	プリジストンスポーツ東京	3位	東京	富士通・東京
4位	茨城	日立AMS佐和	4位	茨城	日立AMS佐和
5位	埼玉	川口市役所	5位	神奈川	三菱電機
6位	神奈川	AGC旭硝子中研	6位	栃木	栃木県教職員
7位	埼玉	プリジストンスポーツ埼玉			
8位	群馬	群馬県教職員			

第31回関東実業団対抗テニスリーグ戦

9月9日(金)～11日(日) 会場:茨城県神栖市海浜運動公園テニスコート



台風や秋雨前線の影響で、大会初日、二日目は好天、最終日は雨という変化の大きい天候条件の中、男子は山喜が予選リーグでテニスユニバースを破り、決勝でルネサンスを制して初出場・初優勝、女子はウインザーがワールド航空サービスを破って6回目の優勝を飾った。

本大会には、関東1都7県から男子16チーム、女子12チームが参加しているが、毎年レベルが上がっていることもあり、最終日まで残るチームとそうでないチームの差が大きくなっていくように感じられる。また、女子に関して代表チームを選出できない県が増えてきており、各県での更なる工夫や取組が必要である。

懇親夕食会では、初出場チーム等による余興で大いに盛り上がり、テニスの真剣な試合とは異なった親睦を深めることができました。

男子は4位まで、全国実業団対抗テニストーナメントに出場する。女子



は6位まで同大会に出場、及びダイレクト・アクセプトタンスの下記3チームも出場する。

(1)みずほフィナンシャル丸の内(東京)、(2)三菱東京UFJ銀行東京(東京)、(3)富士通(東京)

男子	チーム	都県名	女子	チーム	都県名
1位	山喜	千葉	1位	ウインザー	神奈川
2位	ルネサンス	千葉	2位	ワールド航空サービス	東京
3位	三菱マテリアル	東京	3位	東京海上日動	東京
4位	MS&AD三井住友海上	東京	4位	三井住友銀行	東京
5位	テニスユニバース	東京	5位	味の素	神奈川
6位	AGC旭硝子中研	神奈川	6位	NTTデータ	東京
7位	みずほフィナンシャル	東京			
8位	三菱東京UFJ銀行関東	東京			

第40回全日本都市対抗テニス大会

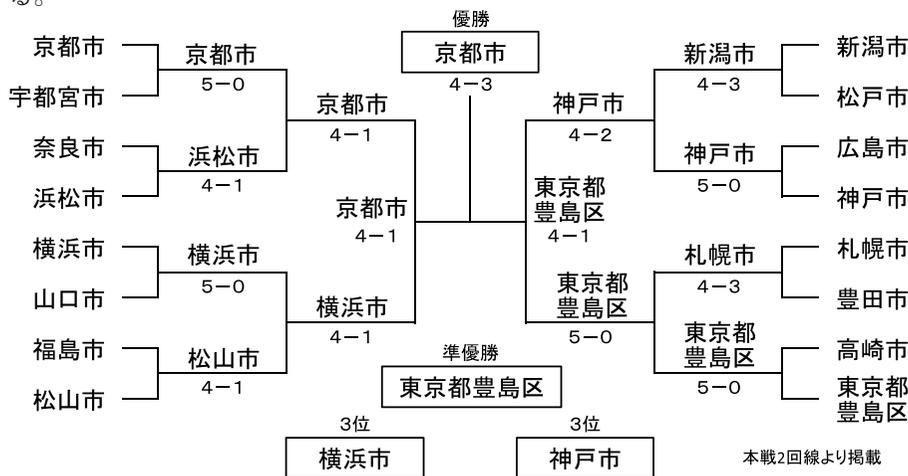
(2017笑顔つながえひめ国体テニス競技リハーサル大会)

2016年7月22日(金)～24日(日) 於:愛媛県総合運動公園テニスコート



関東地区は本戦ストレートインの東京都豊島区、横浜市、松戸市、および関東地域予選を勝ち抜いた高崎市、つくば市、宇都宮市の6チームが出場し、東京都豊島区と横浜市がベスト8入賞した。東京都豊島区は決勝戦の対京都市戦でダブルス3勝と大手をかけたが、シングルス2試合を惜しくも落とし準優勝であった。横浜市は準決勝で京都市に屈した。松戸市、高崎市、宇都宮市が2回戦進出、つくば市が初回戦敗退であった。

次年度参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。2018福井しあわせ元気国体リハーサル大会の参加枠は、関東地区6枠を獲得している。



第71回希望郷いわて国体2016テニス競技

2016年10月2日(日)～5日(水) 於:盛岡市立太田テニスコート、安比高原テニスクラブ



関東勢は成年女子、少年男子、女子の活躍が目立った。成年女子は3位 茨城、6位 神奈川、7位 埼玉、少年男子は3位 埼玉、4位 東京、5位 神奈川、少年女子は1位 東京、5位 埼玉であった。一方、成年男子の入賞は8位の神奈川のみであった。

テニス競技天皇杯(男女総合成績)は、1位 東京、3位 埼玉、7位 神奈川の3都県が入賞。

テニス競技皇后杯(女子総合成績)は、2位 東京、5位 茨城、埼玉の3都県が入賞。

次年度国体参加枠は、全国9地域に基礎枠24を配分したところに、過去2年の成績を配点して算出したドント配分枠を追加して決める。第72回笑顔つながえひめ国体2017の参加枠は、成年男子5枠、成年女子7枠を獲得している。

第71回国民体育大会(希望郷いわて国体2016) テニス競技1位～8位 成績一覧表

	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子		天皇杯(男女総合)		皇后杯(女子総合)
1位	和歌山県	愛媛県	兵庫県	東京都	1位	東京都	1位	京都府
2位	三重県	京都府	滋賀県	沖縄県	1位	兵庫県	2位	東京都
3位	長野県	茨城県	埼玉県	福岡県	3位	埼玉県	2位	愛媛県
4位	福岡県	静岡県	東京都	兵庫県	4位	京都府	4位	沖縄県
5位	大阪府	富山県	神奈川県	埼玉県	4位	愛媛県	5位	茨城県
6位	愛媛県	神奈川県	大分県	京都府	4位	福岡県	5位	埼玉県
7位	宮崎県	埼玉県	岡山県	島根県	7位	神奈川県	5位	福岡県
8位	神奈川県	岐阜県	京都府	三重県	7位	三重県	8位	静岡県
					7位	和歌山県	8位	兵庫県

第22回指導者のためのリフレッシュ講習会

開催日：平成28年7月9日(土) 会場：東洋学園大学流山キャンパス



公認：(公財)日本テニス協会 参加者：55名

- ① 「2020年東京オリンピックに向けて～アンチドーピングについて」「PLAY TRUE」「INTEGRITY」(高潔・清廉)を目差し、アンチドーピング活動を上げていくことの重要性について。
講師：染谷 俊一(JTA強化本部 NTCマネージャー)
- ② 「デビスカップチームのサポート体制～ドクターの立場から」ワールドグループでの戦いを続けている日本チームがベストのパフォーマンスを発揮する為のサポートについて。
講師：奥平 修三(JTA医事委員会委員)
- ③ 「シニアに対する指導法」「中高年の為のテニス～初心者指導の実践」指導者は選手の心に響く言葉を使うこと、ジュニア選手へは、英会話や環境に慣れることの必要性を伝えること。
講師：坂井 利郎(JTA常務理事 元デビスカップ選手及び監督)
講師：横松 尚志(JTAコーチング委員会)



委員会よりお知らせ



＜審判委員会＞

セルフジャッジ5原則(日本テニス協会推進)

- ① 判定が難しい場合は「グッド」!
- ② 「アウト」または「フォルト」はボールとラインの間にはっきりと空間が見えたとき!
- ③ サーバーはサーブを打つ前、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス!
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って速やかに!
- ⑤ コートの外の人には、セルフジャッジへの口出しはしない!

2016.3.12東京体育館にて関東テニス協会主催のルール講習会が開催され、131名が受講しました。

講師にはJTA審判委員会委員長の大原泰次郎氏をお迎えし、ルールの改正点など詳しく説明がありました。またロービングアンパイアの活動での疑問点など、改めて再確認できた講習でした。限られた時間の中でしたが、更なる審判技術のレベルアップに繋がりました。次回は2017年3月を予定しております。ルールに興味のある方の多数のご参加をお待ちしております。



＜広報委員会よりのお願い＞

KTAニュースは45号(平成29年度発行)より、ホームページ掲載のみとし、会員皆様のお手元への送付は廃止することになりました。平成28年度第5回関東テニス協会常務理事会にて、財務改善策の一環として承認されたもので、皆様のご理解を賜りますようお願い申し上げます。

今後は、WEB対応の電子機器であれば、随時の閲覧、知人への通知・共有などもできるという利点もありますので活用頂けるものと存じます。また、本44号、旧43号42号はホームページにも掲載しておりますのでご覧ください。<http://www.kanto-tennis.com> <ニュース>からアクセス。

この一球で
君は
変わる!

松岡修造



数多くの国際大会を支える高品質な試合球。

SRIXON

君は
変わる!

松岡修造



信頼に応え続けるスタンダードな試合球。

FORT

君ならなら
ならなら
ならなら!

松岡修造



信頼に応え続けるスタンダードな試合球。

FORT

この一球で
夢をつかめ!

松岡修造



数多くの国際大会を支える高品質な試合球。

SRIXON



ダンロップ・テニスボール・アドバイザーズスタッフ 松岡修造



ITF Approved
APPROVED BY J.T.A.



ITF Approved
APPROVED BY J.T.A.

信頼に応える
No.1テニスボール。

※硬式テニスボールで国内シェアNo.1/2013年間国内出荷量調査(2015年度版スポーツ産業白書)より

△ 開缶時、開缶後は切り口で指をケガする恐れがありますので、缶のフタや缶の内側に直接手を触れないでください。



販売元: 株式会社ダンロップスポーツマーケティング テニス営業本部 〒108-0075 東京都港区港南1-6-41
お問い合わせ窓口(製造元): ダンロップスポーツ株式会社 カスタマーサービス室 お客様専用フリーダイヤル 0120-301129 (10:00~12:00 13:00~17:00 ※平日のみ)
www.srixon-tennis.com

Dunlop/Srixon Tennis 公式 Facebook ページ
<https://www.facebook.com/Dunlop.Srixon.Tennis>

